

正しい文字・美しい文字を

しっかり学べるしくみ

【手本(教材)について】

日本習字では、コースごとに手本(教材)を発行しています。

日本全国はもとより海外へ異動した場合でも
同じ手本・段級位のままで学習を継続できます。

※毎月定期的に全国の習字教室に配本されます。

※5Pからの各部紹介をご覧ください。

全国の
教室で

学習の流れ

手本の配布

毎月、日本習字から届く
学年別・コース別の手
本を、教室で一人ひとり
にお渡しします。



練習・清書

手本を見ながら練習し、
上達に合わせて先生が
実技指導。清書作品とし
て仕上げていきます。



清書作品 提出

清書ができあがったら、
教室で集めて日本習字
の検定係に送ります。



添削・認定

作品は日本習字の指
導員が一枚ずつ朱筆
で添削し、習熟度に応
じて**段級位**を認定。



作品返送

朱筆添削された作品は教室
へ返送され、会員の手元へ。
赤字を確かめることで、次月
の課題にも
ステップアッ
プして取り
組めます。



COLUMN

手本のこだわり

原寸大の課題や書き方の説明などを記
載した冊子です。日本習字の目指す「正
しい文字・美しい文字」を段階的に学ぶ
ことができます。

目的に合った手本で学べます！



COLUMN

段級位について

成長の証が見える！ 段級位でやる気アップ

日本習字では、指導員による段級位認
定制度を導入しています。生徒部を除
く各手本で段位に合格すると、申請に
より認定証や「指導資格」を証明する免
許状を発行。指導者を目指せるしくみ
も、モチベーションアップのひとつです。

COLUMN

オリジナルの用具

当教室では、日本習字が手本課題を学ぶ
ため独自に開発・製作した用具を、
教室のみなさまにご提供しています。

くわしくは p11.12
日本習字の書道用具ページへ！



日本習字で学ぶ人の声 ▶▶▶

「日本習字」とは？

日本習字は、昭和28年に福岡県柳川市で「西日本書道通信学会」として産声を上げました。その後、改組や名称変更を経て、昭和60年12月には文部省より「財団法人日本習字教育財団」として設立許可を取得。さらに平成24年3月、内閣府より「公益財団法人 日本習字教育財団」として認定されました。

「正しい美しい愛の習字」を理念に掲げ、書道教育と書道文化の発展に努める日本習字。書を通じて、日本文化を未来へ継承し、さらに広げていく活動を続けています。

日本習字
公式サイトは
コチラ



日本習字が 選ばれる理由

日本習字は、毎月届く課題（手本）を提出すると段級位が認定されるしくみ。会員は約28万人、教室は全国に1万以上！将来的にどこに転居されても学び続けられることが大きな魅力です。



COLUMN



はらだ かんぼう
創立者 原田観峰

創立者 原田観峰ってどんな人？

昭和28(1953)年、福岡県柳川市で西日本書道通信学会(公益財団法人日本習字教育財団の前身)を創立し、「正しい文字・美しい文字」の普及活動を展開。平成7(1995)年に亡くなるまで、多くの受講者のため、手本執筆と講習会等に奔走し、その半生を書道教育に尽くしました。

マンガで紹介！



学習した成果は、毎年開催する各種展覧会や揮毫大会で披露することができます

書き初め大会



毎年1月に全国の会場で日本習字会員による書き初めを行います。令和6年度は6会場およびオンラインにて2180名が参加しました！

公募展主催

公募日本習字展

「公募日本習字展」(愛称:日習展)は、当財団の「正しい美しい愛の習字」という基本理念のもと、書道文化・書道教育の振興発展を目指して開催する全国規模の書道展です。



公募日本習字 硬筆展

日常生活で使うことが多い硬筆の筆記具を用い、文字を丁寧に整えて書くよい機会です。「硬筆展」を通して、硬筆学習の重要性を改めて認識していただければ幸いです。

観梅展

【日本習字受講者限定】

「観梅展」は、日本習字で書を学ぶ皆さまが日頃の学習の成果を発表する場として平成12年より開催されている条幅作品展です。

国際交流



国際交流事業の一環として、習字(書道)の基本的な知識などを英語で紹介した冊子の作成、交流イベントの参加などを行なっています。

11月2日は 「習字の日」

当財団は創立60周年記念事業として、11月2日を「習字の日」「書道の日」と定め登録しました(2013年9月、日本記念日協会)。11月2日である理由は、「いいもじ」の語呂合わせの意味と、文化祭等の多い11月の文化月間に合わせたもので、活字文字全盛の今、毛筆や硬筆で文字を美しく書く伝統文化を広め、継承することを目的とした記念日です。



一生使う文字を美しく 幼児・小学 中学部

年齢・学年に応じた9コース※があり、毛筆・硬筆の両方をしっかり学べます。原寸大の手本を使って練習し、作品は専門の指導員が丁寧に添削。正しく美しい文字を効果的に習得できるだけでなく、高い集中力やあいさつなどの礼儀作法、伝統文化への理解が身につく、豊かな人間性を育むことができます。

※ 幼児部1コース・小学部6コース・中学部2コース

入会金・年会費・月謝については、p13をご覧ください。

こんな方におすすめです！



字をきれいに
書けるように
なってほしい

毛筆も硬筆も
基礎から
学ばせたい

進級・昇段
することにより
自信をつけ
させたい

集中力を
身につけて
ほしい

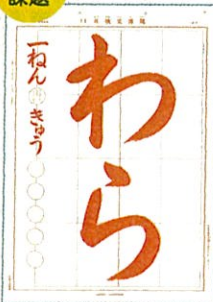


毎月、原寸大の手本や課題の解説などを記載した
教材(冊子)を配付します

出品された作品は、日本習字指導員が一枚一枚朱筆添削いたします。
進級昇段を目指す気持ちの支えとなり、学習意欲の向上につながります。

一緒に
がんばりましょう！

毛筆
課題 小学1年



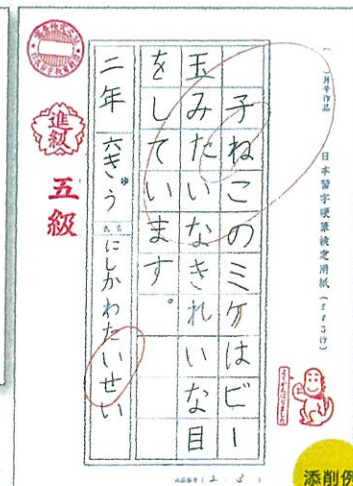
各種手本は電子ブックで
見られます(出品はできません)

小学1年



添削例

硬筆
課題 小学2年



添削例



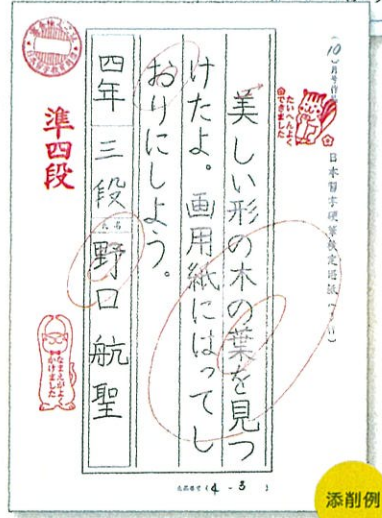
小学4年



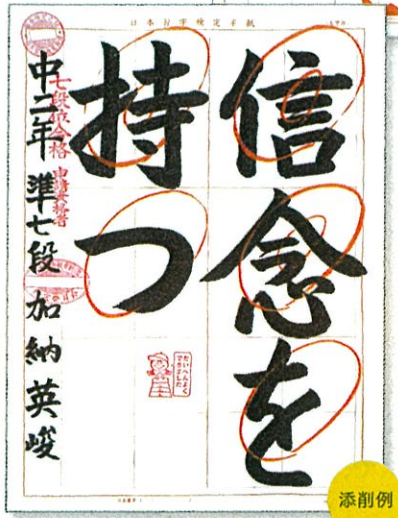
中学2・3年



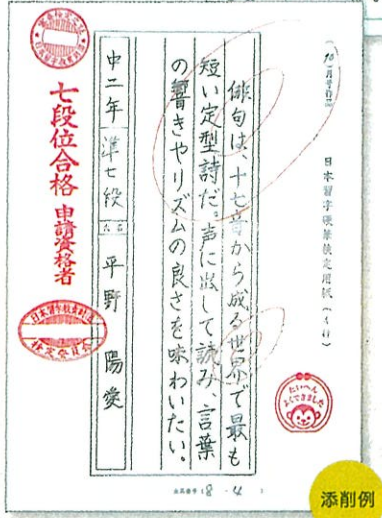
中学2・3年



添削例



添削例



添削例



幼児・小学・中学部 段級位について



やる気UP!

幼児・小学・中学部は、毛筆・硬筆において10級から八段まで、実力に応じて段級位を認定する制度を導入しております。

START!



※生徒部八段位昇段試験は年3回実施されます。
最高段位(八段位)合格者には、
成人コースを学べる特待生制度があります。



よし! 次を目指すぞ!

特待生制度

八段合格が開く、次のステップ
特待生として、さらに高みへ



中学部までの生徒手本を受講している
会員で、生徒部八段位の昇段試験に
合格した方は、受講期間中に限り、
特待生として成人手本を受講できます。
習熟度の高いお子様に一足早く高み
を目指す制度として喜ばれています。

この部で使う書道用具は
P11・12
でご紹介

